

# 勉学の旗

(高須中学校だより)



平成29年1月26日号

高須中学校長 山口和久

## 今年もよろしくお願ひします

大変遅くなりましたが、本年最初の学校だよりになります。改めまして、今年もよろしくお願ひします。

3学期の始業式には、1月8日(日)に開催された「地域成人祭」の様子を生徒に話しました。この「地域成人祭」は地域の皆さんが新成人の皆さんをお祝いする形で、例年行われているものです。大部分の人は、午前中、市全体の成人式に出席し、午後からのこの会に参加しています。様々な格好をしている新成人の皆さんですが、私がとても感心したのは、小中の旧担任の先生方とても穏やかに話をしていることです。中学校であれば、卒業後5年間の新成人の皆さんの奮闘と成長の様子を旧担任の先生方が、温かい目で認めています。小学校の先生方もたくさん来ていただきました。本当にありがたいことです。地域の来賓の皆さんがステージ上であいさつする時も、新成人の皆さんは大きく騒ぐこともなく、ほとんどの人は姿勢を正して、きちんと聞いています。来賓の方が「おめでとうございます。」というときに自然と「会釈」がかえってきます。私は、ほんの数人のすでに働いている新成人の方と話をしましたが、その成長には目を見張るばかりでした。中学時代に「当たり前」と思っていたことが、高校に行くと通用しないことがたくさんあり、社会に出てお金を稼ぐようになるとまた世の中の厳しさを味わい、でも社会人としてがんばっている。私たち大人も通ってきた道なのですが、やはりその成長した姿を見ると思わず握手をしたくなります。

私は、いつも「中学校で身につけておかなければならないことは、必ず中学校で身につけさせておかなければならない。」と思って中学校の教員をやっていました。でもこの頃、そして今回のこの「地域成人祭」での体験から、少し考えが変わってきました。それは「中学時代に力をつけさせるためにベストを尽くすことは、中学校教員として当たり前。でも、思うように力がつかなくても、卒業後にこの子を成長させてくれる人・支えてくれる人たちが必ずいる。」ということです。ということは、子どもたちにつけさせておかなければならない「力」の一つに、人が関わってくれるその子の「人柄」も加わってくるわけです。

本当に、子どもたちの成長する姿を見ることは幸せです。でも、その成長には一人一人スピードに差があること、そして様々な方が関わっていただいていることを、肝に銘じなければならぬと感じました。

## 1年生の道徳の授業で

ある日、校内を回っていると1年生が「道徳」の授業をやっていました。やっていたのは「電車の中で」という資料をもとに、自分勝手な行動が実は他人に迷惑をかけていると気づかせるというものでした。

ほんの数分間でしたが、教室に入り授業の様子を見てみると、生徒の皆さんは姿勢よく規律を守り、でも自由に自分の考えを発表しています。とても感心しました。

よく言われますが、道徳の授業では答えが一つではありません。資料や読み物などから、自分の考えをまとめ、人の考えをきいて、自分なりに望ましい言動をイメージできることが大切です。その際には、「そんな考え方もあるんだ。」という感覚や、「気持ちが揺れる」という感覚が当然あるはずですが、そして何と言っても、「自分は、・・・」とか「自分だったら・・・」とか「実際の自分は・・・」とか、自分と重ね合わせることは欠かせません。

生徒の皆さんの心の成長を、これからも手助けしていきます。



〔裏面にお知らせ〕

## 〔お 知 ら せ 〕

- 1・2年生を中心に、インフルエンザが流行りはじめています。手洗い・うがいの励行、教室の換気等、生徒の皆さんには指導をしていますが、ご家庭でも健康管理等よろしくお願ひします。また、発熱等の症状がありましたら、無理をせず病院を受診してください。  
緊急の場合は、生徒の早期下校、学級閉鎖等の措置をとりますので、よろしくお願ひします。その際は、文書とともに「いっせいくん」にてお知らせをします。
- 1月31日（火）に1年生、2月2日（木）に2年生が、それぞれ社会見学を予定しています。インフルエンザ流行の場合は、学級閉鎖等の措置をとる、とらないに関わらず、学年の状況に応じて、社会見学を中止する場合があります。その際は、文書でお知らせします。当日は通常授業を行う予定です。